


<p>第 253 回 都市懇サロン レポ ー ト</p>	<p>都市懇サロン第 253 回 WEB 講習 『新宿駅直近地区土地区画整理事業について～人中心のまち「新宿」の 形成にむけて～』</p>		
<p>講 師</p>	<p>講師:東京都都市整備局 市街地整備部 企画課 拠点整備事業専門課長 前田 啓太さん</p>	<p>開 催 日</p>	<p>令和 3 年 9 月 14 日(火) 18 : 00 ~ 20 : 00</p>
<p>講 師 プロフィール</p>	<p>平成 3 年東京都建設局入都、交通局、住 宅局、オリンピックパラリンピック準備 局等を経て、令和 2 年 4 月より現職。</p>		
<p>お話の概要</p>	<p>新宿駅周辺は、江戸時代に甲州街道と青梅街道の分岐点に位置する宿場町として 発展し、1923 年の関東大震災の際は、武蔵野台地に位置していたお陰で被害が少な かったこともあり、その後、戦災復興区画整理によって現在の街の骨格を形成し、 戦後の高度成長期を経て、現在では、7 路線 8 駅が結節している世界一の乗降客数 を記録する巨大ターミナル駅に成長し、駅周辺は高層オフィスビルや商業施設等の 多様な都市機能が集積する都内最大の歓楽街である。</p> <p>本事業では、東京都が施行者となり、新宿駅直近地区における東西の移動のしづ らさ、人の滞留空間の不足、駅・駅ビルの老朽化等の課題に対し土地区画整理事業 により、駅ビルの建替えを契機に敷地整序を行う計画である。</p> <p>また、新宿駅周辺は 2040 年代を目途に将来像である『～交流・連携・挑戦が生ま れる人中心のまちへ～』を目指しており、2018 年に策定した拠点再整備方針のなか で『新宿グランドターミナルの一体的再編』を掲げ、新設グランドターミナルへの 車両流入を抑制しつつ、歩行者ネットワークの拡充を行うため、西口・東口駅前広 場等の施設整備（駐車場空間ボイドの再整備等）、線路上空デッキ(新宿セントラ ルプラザ・新宿テラス)及びデッキ部分～地上一階～地下二階の要所にターミナルシ ャフト(縦方向への移動)を設置することで、快適に回遊できる都市空間の形成を図 る計画としている。</p> <p>本事業の概要について、事業施行期間は令和 3 年(2021 年)7 月から令和 29 年(2047 年)まで、施工面積は約 10.1ha、総事業費は約 728 億円であり、権利者は鉄道事業 者(JR 等計 4 社)となっている。</p>		
<p>意 見 交 換 の 概 要</p>	<p>権利者との調整については、事業費全額を権利者負担金で賄ってもらうため、事業 内容や意義、事業後のイメージ、土地の利用増進等のメリット等について理解して もらうことが大切である。なによりも、街に価値を生み出すことが最も重要であり、 そのためには、権利者である事業者との連携が不可欠となってくる。他方でエリア マネジメントの運用や地下通路工事の困難さ等の議論すべき課題も残る。</p>		
<p>記 録 者 の ひ と こ と</p>	<p style="text-align: right;">≪都市懇サロン運営部会 委員 高橋晴也≫</p> <p>「残すべきレガシー」、「挑戦できるまち」といった新宿らしさと次世代の技術導入 等の二律背反するキーワードを上手く融合して個性的な国際都市となって欲しい。</p>		